

災害備え、避難訓練真剣

大山崎の特養ホーム 岩手の台風被害受け



避難先の施設3階から府警へりに向かって居場所を伝える職員と入所者たち(大山崎町円明寺)



台風10号による豪雨で岩手県岩泉町の高齢者グループホーム「楽ん楽ん」の入所者9人が亡くなった災害を受け、大山崎町円明寺の特別養護老人ホーム「洛和ヴィラ天王山」はこのほど、避難誘導訓練を行った。同ホー

ムの職員や向日町署員ら約20人が参加し、災害時の心構えや動き方を学んだ。冒頭、参加者全員が岩泉町の犠牲者に黙とうをささげた。訓練は大雨で避難準備情報が発表されたとの想定で実施。入所者は同ホーム職員と大山崎消防署員らに付き添われ、避難経路を通って階上に移動した。府警航空隊のヘリコプターと無線を通じて連絡を取り、

3階ベランダの避難先でへりに向かって居場所を知らせた。2年前に福知山署長として福知山市内の水害に対応した向日町署の竹内敏明署長の講話や町職員の災害用語の説明もあった。竹内署長は「川上でどれだけ雨が降っているかわかることが重要。雨が弱まって、後で一気に水が押し寄せてく」と水害経験を語った。(藤井契人)